

るが、汚染ができて放置された場合どういふ結果になるであろうか。本研究では、加工羊毛糸を日常つきやすい食品（牛乳、紅茶、醤油など）で汚染し、これに対する繊維害虫の食害状態や死亡率を観察した。

2. 2/60'S 羊毛メリヤス糸 120cm 50mg を 1 試料として輪にし、オイラン (0.3~6%) ディルドリン (0.02~0.4%) ミッチン (0.2~0.4%) で、各濃度に加工し、食品汚染、乾燥の後、10匹のヒメカツオブシムシ幼虫を加えて、ふた付ガラス皿に入れ、30°C、65%RH の暗所におき、4 週間実験を続けた。各週羊毛糸を秤量し、重量の減少をもって食害量とした。

3. 防虫加工がしてあっても、食品汚染があれば虫害がある。ことにオイラン、ミッチンでは著しい。食品の種類としては、牛乳、紅茶が食害が多い。しかし死亡率はいずれも 4 週間で、100% となるから、これ以上食害が増加することはなく、この意味では防虫効果があるといえる。結論として防虫加工製品でも、食品等の汚染があれば、虫害をうけるものであるから、そのつど、しみ抜きや洗たくをすることが、衣類整理上必要なことである。

B-48 食品汚染された防虫加工羊毛糸の虫害について

文化女大家政 桑名 寿一
○高野富士子
松村 澄江

1. 防虫加工羊毛製品は通常虫害をうけないものである